

1. 日時

2020年11月18日（水） 19:00～21:00

2. 場所

Zoom（Web会議システム）

3. 出席者

（敬称略順不同）

近藤、中村、河村、鈴木（記）以上4名

4. 議題

（1）Causal Loop Diagram～System Dynamics図の検討

（2）発表資料R0 レビュー

（3）その他連絡・相談事項など

5. 議事

（1）Causal Loop Diagram～System Dynamics定量モデルの検討

近藤座長に、宿題として、前回議論の結果をCausal Loop Diagramに反映したものと、それを基にpowersim®を用いたSystem Dynamicsの定量モデルを作成していただいた。本日内容を再度レビューし、修正点があれば修正し、問題がなければ発表資料をレビューする。

定量モデルについては、デメリットを感じた参加者の影響について、人数構成比でそれほどマイナス効果が出ないなど、定量モデルらしい可視化が出来た。今回は離島ワーケーション施設の収容キャパシティや、ワーケーション参加者の滞在時間等が考慮されていないので、考慮が必要ではないかとの意見が出された。

（2）発表資料R0 レビュー

近藤座長に、宿題として、11月26日に開催されるプロジェクトマネジメント学会中部支部のシンポジウムで発表する活動報告のpptを作成していただいた。本日内容をレビューし、修正点があれば修正し、Slack等で意見交換する。

活動の考察ページ、「懸念事項」の、テクノロジーシーズを持ったステークホルダーの参画が必要になるか？という記述について、議論があった。やはり今回の仮

想的な研究活動の中でも、迷走があったように、ニーズとシーズのスパイラルアップの成否にかかわる問題ではないか、との共通認識がなされた。シーズは企業内部だけではなく、他の企業とのコラボレーションも視野に含めると、BAOには広範な知識やスキルが必要になってくる。

同じく活動の考察ページ、”出来ていないこと”の、BAOが本来BA活動を行うべき人と、どのように関わり指導してゆくのか？という記述について、議論があった。懸念事項で指摘された、テクノロジーシーズを持ったステークホルダーをどう巻き込むかの方法論が深掘り出来ていない。この辺りは仮想モデルの難しいところかもしれない。

他には資料全体を通して、構成上、ペルソナからいきなりニーズ・シーズ纏めの図になっているので、Customer Journey Mapを挟んだ方が、分かりやすいのではないか、との意見があった。

(3) その他連絡・相談事項など

宿題

近藤座長に、System Dynamics定量モデルの修正と、発表資料の完成をお願いした。

PM学会シンポジウムのお知らせ

今年はオンライン（ZOOM）開催となる。日時は2020年11月26日 14:30～18:00。BABOK研究会の今年度研究成果の発表が予定されている。詳細は[リンク先](#)へ

IIBAセミナーのお知らせ

今回の研修成果は、12月開催のIIBAセミナーでも発表される予定になっている。詳細は確定次第展開予定。

相談事項

中村氏より、次年度研究テーマについて、現在は仮想的なモデルを前提に研究会を進めているが、より実務への応用が効くようにしたいとの思いがあり、現実的な事例を基にした研究のテーマについて提案を頂いた。

6. 次回予定

(1) 日程

第99回 2020年 11月25日（水） 19:00～21:00

(2) 場所

ZOOM（Web会議システム） 予定

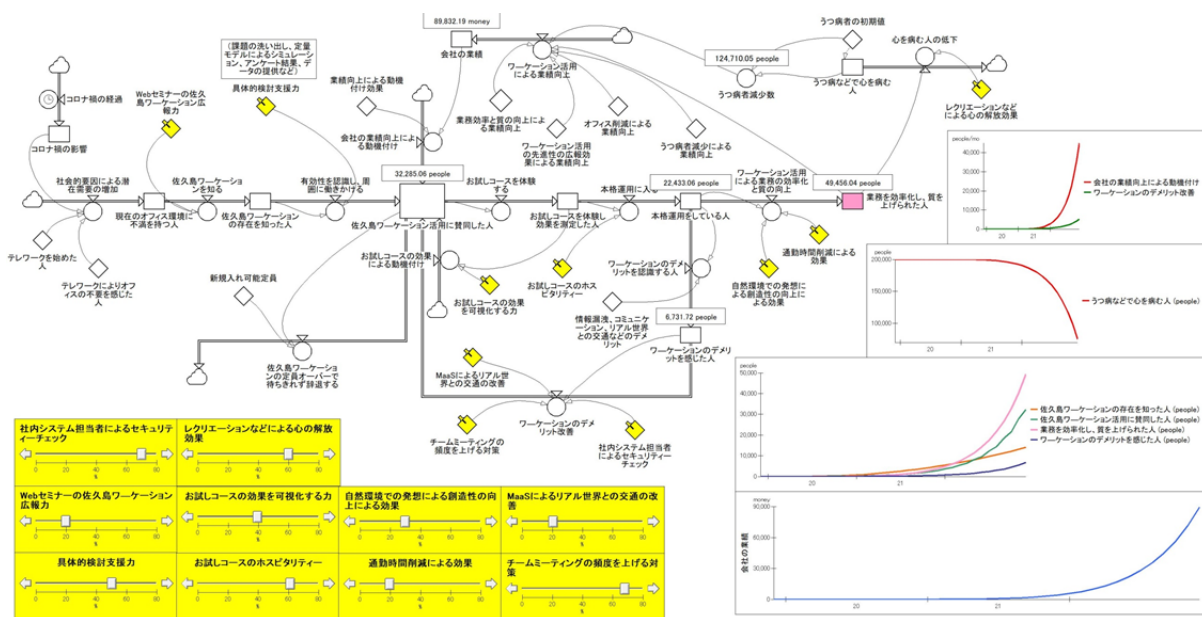
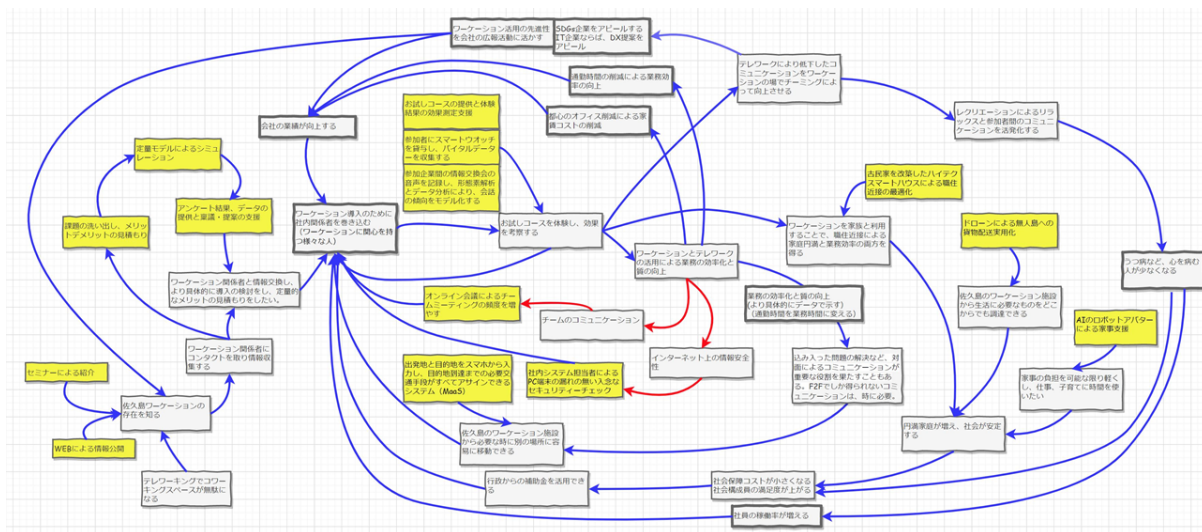
(3) 議事予定

発表資料、成果物のレビュー

7. 成果物

(1) 宿題

① Causal Loop Diagram~System Dynamics



② 発表資料R0)

[活動報告資料rev0.pdf](#)

8. その他

特になし

—以上—